

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (国語科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
現代の国語	2	1	両学科	必修

科目の目標	(1)実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
使用教材	教科書「現代の国語 改訂版」(筑摩書房) 副教材「書いて覚えて実践する高校生の語彙と漢字 ゴイカン」「書いて覚えて実践する高校生の語彙と漢字 ゴイカン 書き取り演習ノート」(以上2点桐原書店)
定期考査の実施	前期中間 (○) 前期末 (○) 後期中間 (○) 学年末 (○)

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
家庭学習課題と課題の修正	○	○	○
授業内小テスト	○		
レポート・パフォーマンス課題		○	○
学習計画表・振り返りシート			○

指導計画 (予定)

時期	No.	単元	教材
4～6月 (前期中間 考査まで)	1	問うこと、語ること	境目(川上弘美)、サイエンスの視点、アートの視点(齋藤 亜矢)
	2	評論文への招待	ことばとは何か(内田樹)、デジタル社会(黒崎政男)
	3	ことばで伝える思いと考え	ことばがつくる女と男(中村桃子)、身体、この遠きもの(鷲田清一)
6～9月 (前期末考 査まで)	4	情報と推論	失われた両腕(清岡卓行)など
	5	話し合いから議論へ	誰かの靴を履いてみること(ブレイディみかこ)、〈私〉時代のデモクラシー(宇野重規)
	6	根拠から主張へ	魔術化する科学技術(若林幹夫)、マルジャーナの知恵(岩井克人)
10～12月 (後期中間 考査まで)	7	伝えること、受け止めること	会話と対話(長田弘)、記憶する体(伊藤亜紗)
	8	表現のみがき方	贅沢の条件(山田登世子)、瓦を解かないこと(堀江敏幸)
12～3月 (学年末考 査まで)	9	主張の論理的な伝え方	来たるべき民主主義(國分功一郎)、主体という物語(小坂井敏晶)
	10	複眼的な視点	開かれた文化(岡真理)、名付けと所有(西谷修)

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (国語科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
言語文化	3	1	両学科	必修

科目の目標	(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
使用教材	教科書 「言語文化 改訂版」(筑摩書房) 副教材 「ビジュアルカラー国語便覧」(大修館書店)、「基礎から解釈へ 漢文必携 五訂版」「基礎から解釈へ 漢文必携 五訂版 チェックノート 基礎編」(以上2点桐原書店)、「読解を大切にする 体系古典文法 十訂版」「四訂版 読解を大切にする 体系古典文法 学習ノート」(以上2点数研出版)、「みるみる覚える古文単語 300+敬語 30 三訂版」(いっずな書店)
定期考査の実施	前期中間 (○) 前期末 (○) 後期中間 (○) 学年末 (○)

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
家庭学習課題と課題の修正	○	○	○
授業内小テスト	○		
レポート・パフォーマンス課題		○	○
学習計画表・振り返りシート			○

指導計画 (予定)

時期	No.	単元	教材
4～6月 (前期中間 考査まで)	1	古文への扉 古文入門	児のそら寝、絵仏師良秀、大江山
	2	漢文への扉 漢文入門／漢語の特色 故事成語を読む	推敲、借虎威、塞翁馬 など
	3	人間の普遍的な姿 物語を読む	竹取物語、伊勢物語
6～9月 (前期末考査 まで)	4	自分という他者 日記を読む	土佐日記、更級日記
	5	韻文の表現 詩歌を作る	小諸なる古城のほとり、竹、樹下の二人 など
	6	韻文の表現 唐詩を翻案する	涼州詞、香炉峰下 など
	7	ことばに現れる意思 随想を読む	徒然草、方丈記
10～12月 (後期中間 考査まで)	8	言動に表れる人間の本質 史伝を読む	十八史略
	9	想像力がひらく世界 小説を読む	羅生門 【参考】今昔物語集
	10	転換期の文体と行動 軍記を読む	平家物語
12～3月 (学年末考査 まで)	11	読みつがれることば 中国古典思想を読む	論語、朝三暮四、雑説 など
	12	韻文の表現 和歌・俳諧を鑑賞する	和歌 万葉集、古今和歌集、奥の細道 など
	13	想像力がひらく世界 小説を読む	夢十夜 【参考】胡蝶の夢

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (地理歴史科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
歴史総合	2	1	両学科	必修

科目の目標	<p>(1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教材	教科書「現代の歴史総合 みる・読みとく・考える 改訂版」(山川出版社)
定期考査の実施	前期中間 (○) 前期末 (×) 後期中間 (○) 学年末 (×)

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
レポート課題		○	○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4		【第1部】1章 結びつく世界と日本の開国
	5	遠足	2章 国民国家と明治維新
	6	前期中間考査・球技大会	
	7	実力テスト	【第2部】3章 総力戦と社会運動
	8	夏課題テスト	4章 経済危機と第二次世界大戦
	9	文化祭・前期末考査	
後期	10	秋季休業・体育祭	
	11	実力テスト	
	12	後期中間考査・冬季補習	【第3部】5章 冷戦と世界経済
	1	冬課題テスト・実力テスト	6章 世界秩序の変容と日本
	2		
	3	学年末考査・修学旅行	

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (公民科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
公共	2	1	両学科	必修

科目の目標	<p>(1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>(3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教材	<p>高校生の公共 (帝国書院)</p> <p>高校生の公共ノート (帝国書院)</p>
定期考査の実施	前期中間 (○) 前期末 (○) 後期中間 (○) 学年末 (○)

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
授業内課題		○	○
振り返りシート			○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4		【第1部】 私たちがつくる社会
	5	遠足	1章 社会の中の私たち
	6	前期中間考査・球技大会	2章 思想から学ぶべきもの
	7	実力テスト	3章 私たちの社会の基本原理
	8	夏課題テスト	【第2部】 社会のしくみと諸課題
	9	文化祭・前期末考査	1章 私たちと法
後期	10	秋季休業・体育祭	2章 私たちと政治
	11	実力テスト	3章 私たちと経済
	12	後期中間考査・冬季補習	
	1	冬課題テスト・実力テスト	【第2部】 社会のしくみと諸課題
	2		3章 私たちと経済
	3	学年末考査・修学旅行	

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (数学科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
数学 I	3	1	両学科	必修

科目の目標	数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析について理解し基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力や問題解決能力を養う。それらの能力を活用しながら、主体的に判断・表現する力を養う。
使用教材	高数への基礎練習(数研出版) 教科書 数学 I, 数学 II(数研出版) サクシード数学 I + A, 数学 II + B + C [ベクトル](数研出版) チャート式基礎からの数学 I + A, 数学 II + B + C [ベクトル](数研出版) 改訂版 短期完成データの分析ノート(数研出版)
定期考査の実施	前期中間(◎) 前期末(○) 後期中間(○) 学年末(○)

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
課題、振り返りシート等	○	○	○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4	春課題確認テスト	数学 I 第1章 数と式
	5	遠足	第2章 集合と命題
			第3章 2次関数
	6	前期中間考査・球技大会	数学 A 第1章 場合の数と確率
	7	実力テスト・夏季進学補習	
8	夏課題確認テスト		
後期	9	文化祭・前期末考査	第2章 図形の性質
	10	秋季休業・体育祭	数学 I 第4章 図形と計量
	11	実力テスト	第5章 データの分析
			数学 A 第3章 数学と人間の活動
	12	後期中間考査・冬季進学補習	数学 II 第1章 式と証明
	1	冬課題確認テスト・実力テスト	
	2		
3	学年末考査・修学旅行	第2章 複素数と方程式	

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (数学科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
数学A	3	1	両学科	必修

科目の目標	場合の数と確率、図形の性質、数学と人間の活動について理解し基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力や問題解決能力を養う。それらの能力を活用しながら、主体的に判断・表現する力を養う。
使用教材	教科書 数学A, 数学Ⅱ(数研出版) サクシード数学Ⅰ+A, 数学Ⅱ+B+C[ベクトル](数研出版) チャート式基礎からの数学Ⅰ+A, 数学Ⅱ+B+C[ベクトル](数研出版)
定期考査の実施	前期中間(×) 前期末(○) 後期中間(○) 学年末(○)

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
課題、振り返りシート等	○	○	○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4	春課題確認テスト	数学Ⅰ 第1章 数と式
	5	遠足	第2章 集合と命題
			第3章 2次関数
	6	前期中間考査・球技大会	
	7	実力テスト・夏季進学補習	
後期	8	夏課題確認テスト	数学A 第1章 場合の数と確率
	9	文化祭・前期末考査	第2章 図形の性質
			数学Ⅰ 第4章 図形と計量
	10	秋季休業・体育祭	第5章 データの分析
	11	実力テスト	数学A 第3章 数学と人間の活動
	12	後期中間考査・冬季進学補習	数学Ⅱ 第1章 式と証明
	1	冬課題確認テスト・実力テスト	第2章 複素数と方程式
2			
3	学年末考査・修学旅行		

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (保健体育科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
体育	3	1	両学科	必修

科目の目標	(1) 種目の特性を理解し、運動することを楽しむ (2) 学習の決まりを守る (3) 積極的に行動し、仲間と協力して楽しんで学習する (4) 体力向上を図る (5) 計画的に意欲を持って運動する態度を養う (6) 生涯スポーツに役立つ技能と知識を習得する
使用教材	大修館書店 現代高等保健体育
定期考査の実施	前期中間 (×) 前期末 (×) 後期中間 (×) 学年末 (×)

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基本練習・発展練習	○		
試合方法の把握		○	○
実技テスト	○		
振り返りシート	○	○	○
授業内の態度			○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4		※施設の都合上以下の種目を年間通して講座ごとにローテーションで実施し、調整しながら活動していく。
	5	遠足	
	6	前期中間考査・球技大会	新体力テスト
	7	実力テスト・夏季進学補習	体づくり運動
	8	夏課題確認テスト	バレーボール
	9	文化祭・前期末考査	バスケットボール
後期	10	秋季休業・体育祭	ソフトボール
	11	実力テスト	ダンス
	12	後期中間考査・冬季進学補習	マット運動
	1	冬課題確認テスト	バドミントン
	2		テニス
	3	学年末考査・研修旅行	サッカー 陸上 体育理論 ※夏季猛暑時

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (保健体育科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
保健	1	1	両学科	必修

科目の目標	(1) 健康・安全に関する基礎的・基本的な内容を体系的に学習する。 (2) 個人や集団の中で自らすすんで健康を保持増進する能力や態度を養う。
使用教材	大修館書店 現代高等保健体育
定期考査の実施	前期中間 (×) 前期末 (○) 後期中間 (×) 学年末 (○)

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
保健のノート	○	○	○
ポスター	○	○	
授業内の態度			○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4		健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた 生活習慣病の予防と回復
	5	遠足	がんの原因と予防 がんの治療と回復
	6	前期中間考査・球技大会	運動と健康 食事と健康
	7	実力テスト・夏季進学補習	休養・睡眠と健康 応急手当の意義とその基本
	8	夏課題確認テスト	日常的な応急手当 心肺蘇生法
	9	文化祭・前期末考査	上記の単元から1番興味関心のある単元を選択し、調べ学習・ポスターを作成する。

	月	主な行事予定	単元予定
後 期	10	秋季休業・体育祭	喫煙と健康
	11	実力テスト	飲酒と健康
	12	後期中間考査・冬季進学 補習	薬物乱用と健康 精神疾患の特徴
	1	冬課題確認テスト	精神疾患の予防
	2		精神疾患からの回復 現代の感染症
	3	学年末考査・研修旅行	感染症の予防 性感染症・エイズとその予防 健康に関する意思決定・行動選択 健康に関する環境づくり 事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通における安全 上記の単元から1番興味関心のある単元を選択し、調べ学習・ポスターを作成する。

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (理科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
化学基礎	2	1	両学科	必須

科目の目標	観察・実験・学習を通じて、化学と人間生活の関係や物質とその変化への興味を深め、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
使用教材	教科書「化学基礎」(数研出版) 問題集「新課程 リードLight ノート化学基礎」
定期考査の実施	前期中間 (○) 前期末 (○) 後期中間 (○) 学年末 (○)

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
ノート、ワークシートの記述	○	○	○
家庭学習課題	○	○	○
授業内小テスト	○		
レポート・パフォーマンス課題		○	○

指導計画

	月	主な行事予定	単元予定
前期	4	春課題確認テスト	第1編 物質の構成と化学結合 序章 化学の特徴 第1章 物質の構成
	5	遠足	第2章 物質の構成粒子
	6	前期中間考査・球技大会	第3章 粒子の結合
	7	実力テスト・夏季進学補習	
	8	夏課題確認テスト	第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式
	9	文化祭・前期期末考査	
後期	10	秋季休業・体育祭	第2章 酸と塩基の反応
	11	実力テスト	
	12	後期中間考査・冬季進学補習	第3章 酸化還元反応
	1	冬課題確認テスト・実力テスト	
	2		
	3	学年末考査・研修旅行	終章 化学が拓く世界

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (外国語科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
英語コミュニケーション I	3	1	普通科	必修

科目の目標	<p>①外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについての理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>②コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な課題の解決に向け、外国語で情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝え合ったりすることができるようにする。</p> <p>③コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な課題の解決に向け、外国語で情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝え合ったりしようとする態度を養う。</p>
使用教材	<p>ELEMENT English Communication I・サブノート(啓林館)</p> <p>改訂版 LEAP 必携英単語(数研出版)</p> <p>SKYWARD OCEAN Course 3rd Edition 最新入試英語長文20選(桐原書店)</p> <p>HyperListening Elementary 4th Edition 10-minute English Listening Training Elementary(桐原書店)</p>
定期考査の実施	前期中間(○) 前期末(○) 後期中間(○) 学年末(○)

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査・課題テスト	○	○	
パフォーマンステスト	○	○	○
リーディング課題等			○
単語テスト	○		
振り返りシート			○

指導計画

期	月	主なテスト	単元予定
前期	4		Lesson 1 Turning Over a New Leaf
	5		
	6	前期中間考査・GTEC	Lesson 2 Love beyond Species
	7	実力テスト	Lesson 3 Contributing to Our Planet
	8	夏課題テスト	Further Reading 1
	9	前期末考査	Lesson 6 Reaching Out to Others
後期	10		Lesson 7 The Wonders of Language
	11	実力テスト	Lesson 8 Passing Down Cultural Treasures
	12	後期中間考査	Lesson9 Technology and Discoveries
	1	冬課題テスト・実力テスト	Further Reading 2 My First Christmas
	2		Lesson10 Standing Up for Human Rights
	3	学年末考査	

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (外国語科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
英語コミュニケーション I	3	1	アカデミア科	必修

科目の目標	<p>①外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについての理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>②コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な課題の解決に向け、外国語で情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝え合ったりすることができるようにする。</p> <p>③コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な課題の解決に向け、外国語で情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝え合ったりしようとする態度を養う。</p>
使用教材	<p>ELEMENT English Communication I・サブノート(啓林館)</p> <p>改訂版 LEAP 必携英単語(数研出版)</p> <p>SKYWARD OCEAN Course 3rd Edition 最新入試英語長文 20 選(桐原書店)</p> <p>CNN Workbook Extended Course 2026(朝日出版社)</p>
定期考査の実施	<p>前期中間 (○) 前期末 (○) 後期中間 (○) 学年末 (○)</p>

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査・課題テスト	○	○	
パフォーマンステスト	○	○	○
リーディング課題等			○
単語テスト	○		
振り返りシート			○

指導計画

期	月	主なテスト	単元予定
前期	4		Lesson 1 Turning Over a New Leaf
	5		
	6	前期中間考査・GTEC	Lesson 2 Love beyond Species
	7	実力テスト	Lesson 3 Contributing to Our Planet
	8	夏課題テスト	Further Reading 1
	9	前期末考査	Lesson 6 Reaching Out to Others
後期	10		Lesson 7 The Wonders of Language
	11	実力テスト	Lesson 8 Passing Down Cultural Treasures
	12	後期中間考査	Lesson9 Technology and Discoveries
	1	冬課題テスト・実力テスト	Further Reading 2 My First Christmas
	2		Lesson10 Standing Up for Human Rights
	3	学年末考査	

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (外国語科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
論理・表現 I	3	1	両学科	必修

科目の目標	<p>(1) 話すこと[やり取り]: 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを伝えたり、やり取りを通して必要な情報を得たりすることができる。また日常的な話題や社会的な話題について、ディベートやディスカッションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して伝え合うことができる。</p> <p>(2) 話すこと[発表]: 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して話して伝えることができる。日常的な話題や社会的な話題について、スピーチやプレゼンテーションなどの活動を通して、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して伝えることができる。</p> <p>(3) 書くこと: 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができる。日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して文章を書いて伝えることができる。</p>
使用教材	<p>Advanced Vision Quest English Logic and Expression I (啓林館)</p> <p>Vision Quest 総合英語 Ultimate (啓林館)</p> <p>新課程 Vision Quest 論理・表現 I Advanced WORKBOOK (啓林館)</p> <p>Impact Issues 3rd Edition I (Pearson)</p>
定期考査の実施	前期中間 (○) 前期末 (○) 後期中間 (○) 学年末 (○)

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査・課題テスト	○	○	
小テスト			○
パフォーマンス課題	○	○	○
ライティング課題	○	○	○
振り返りシート			○

指導計画

期	月	主なテスト	単元予定
前期	4		Lesson 1 I want to introduce my new friend.
	5		Lesson 2 How about joining our group?
	6	前期中間考査・GTEC	Lesson 3 I' m planning a day trip this weekend.
	7	実力テスト	Lesson 4 Have you ever tried it before?
	8	夏課題テスト	Lesson 5 What do you want to do after high school?
	9	前期末考査	Lesson 6 Did you hear about the new shop?
後期	10		Lesson 7 I' m happy to have you with us.
	11	実力テスト	Lesson 8 What' s sport do you like playing? Lesson 9 Digital media has come a long way.
	12	後期中間考査	Lesson 10 That' s why I decided to go back.
	1	冬課題テスト・実力テスト	Lesson 11 Which do you prefer, cheaper beans or mor expensive ones?

	2		Lesson 12 If I were you, I'd see it as a positive.
	3	学年末考查	

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画（家庭科）

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
家庭基礎	2	1	両学科	必修

科目の目標	ICT化や人工知能の発達、少子高齢化による急速な社会の変化に対応し、今の生活を見つめ、課題に気づき、理想の生活を築くための力を養う。また、グローバルな視点で他者と協働しながら持続可能な社会を構築する力を育てる。
使用教材	教科書「家庭基礎 気づく力 築く未来」実教出版 資料集「生活学 Navi 資料+成分表+ICT 2025」実教出版 家庭基礎 気づく力築く未来 学習ノート 実教出版
定期考査の実施	前期中間（×） 前期末（○） 後期中間（×） 学年末（○）

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
学習ノート		○	○
実技（調理実習等）	○		
パフォーマンス課題 ・夏課題 ・ホームプロジェクト課題	○	○	○
ポートフォリオ課題			○

指導計画

前期	4月	オリエンテーション ①これからの人生について考えてみよう「自己分析/職業適性・人生100年プラン」 ②自分らしい生き方と家族「家族関係学・家庭経営学・家族法」 ③子どもとかかわる「乳幼児発達学・生活の特徴と保育原理・子どもの育つ環境」
	6月	④住生活をつくる「世界の住居から・日本の住まい/変遷・住居設計・住環境&住SDGs」 ⑤食生活をつくる前半「食生活総論・食品栄養学」 調理実習 (1)豆乳おからマフィン (2)野菜たっぷりあんかけ焼麺を中心にした献立
	9月下旬	前期末考査実施
後期	10月	⑥食生活をつくる後半「食品選択・食品衛生学・食糧問題&食SDGs」 調理実習 (3)豆腐ハンバーグを主菜にした献立 ⑦衣生活をつくる「衣服の起源と機能・衣服材料学・衣生活管理&衣SDGs」 ⑧消費行動を考える「消費行動・消費者問題・ライフスタイルと環境&消SDGs」 ⑨経済的に自立する「暮らしと経済・人生計画とお金・リスク管理と資産形成」 ⑩高齢者とかかわる「超高齢社会・高齢者理解・高齢期の生活と福祉」 ⑪社会とかかわる「社会保障制度・共生社会」 ※ゲームをして空き家問題から諸課題を考える取り組みを予定。(実施時期は未定)
	1月	
	3月上旬	学年末考査実施

※③～⑤、⑥～⑪は担当者によって順不同

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (情報科)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
情報Ⅰ	2	1	両学科	必修

科目の目標	(1) 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 (2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。
使用教材	教科書『改訂版 高等学校 情報Ⅰ』(数研出版) 副教材『改訂版 高等学校 情報Ⅰ サポートノート』(数研出版)
定期考査の実施	前期中間 (○) 前期末 (○) 後期中間 (×) 学年末 (○)

評価の方法			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
提出課題	○	○	○
実技テスト・発表	○	○	○

指導計画

時期	主な行事予定	単元予定
前期	4月 春課題確認テスト	第1編 情報社会の問題解決 第1章 情報とメディア 第2章 情報社会における法とセキュリティ 第3章 情報技術が社会に及ぼす影響
	5月 遠足	
	6月 前期中間考査・球技大会	
	7月 実力テスト・夏季進学補習	第2編 コミュニケーションと情報デザイン 第1章 情報のデジタル表現 第3章 情報デザイン
	8月 夏課題確認テスト	
	9月 文化祭・前期末考査	
後期	10月 秋季休業・体育祭	第3編 コンピュータとプログラミング 第1章 コンピュータのしくみ 第2章 プログラミング 第3章 モデル化とシミュレーション
	11月 実力テスト	
	12月 後期中間考査※・冬季進学補習	
	1月 冬課題確認テスト・実力テスト	第4編 情報通信ネットワークとデータの活用 第1章 ネットワークのしくみ 第3章 データの分析
	2月	
	3月 学年末考査・修学旅行	

※この科目では、後期中間考査を実施しない。

令和8年度 京都市立紫野高等学校 年間指導計画 (総合的な探究の時間)

科目名	単位数	設置学年	学科・コース	修・選
Global Citizenship I	2	1	両学科	必修

科目の目標	<p>(1)自分を取り巻く環境と自己との関係を理解するとともに、地域と地球のつながりを踏まえて国際社会の一員であることを自覚し、自由の意味や価値を捉えながら、自他ともに自由で幸福な生活を送ることができる共生可能な社会の実現を志向する。</p> <p>(2)自分の身近な事象に関心を向け、よりよい自己や学校生活、地域社会及び地球社会の実現に向けた課題を設定し、情報を吟味・分析して解決の方向性を構想するとともに、自他ともに自由で幸福な社会の実現に向けた具体的な一歩を構想し、粘り強く追究する。</p> <p>(3)自分を取り巻く世界のよりよい在り方を志向し、国際社会の発展、多文化共生及び自然との共生を視野に入れながら、自他ともに自由で幸福な生活を送ることができる社会の実現に向けて、よりよい自己の在り方を省察し、社会の中に主体的に位置付ける。</p>
使用教材	紫野高校オリジナルテキスト
定期考査の実施	前期中間 (×) 前期末 (×) 後期中間 (×) 学年末 (×)

評価の方法			
評価の観点	つみあげる・つなげる つかいこなす	かんがえぬく やりつづける	おしはかる あゆみよる
家庭学習課題と課題の修正	○	○	○
レポート・パフォーマンス課題	○	○	○
振り返りシート			○

指導計画

時期	No.	単元	教材
4～6月 (前期中間 考査まで)	1	誰もが自由でいられる世界 [自由の意味を問い直し、「自分ごと」として考える]	自由の事例資料、身近な出来事のケース、 写真・動画、ブロックを用いた内省ワーク
	2	校内巡検 [学校という場にひそむ「自由の芽」を見つけ、育てる]	校内フィールドワークシート、対話シート、 校内ルールや空間の観察記録、写真撮影・メモ、
6～9月 (前期末考 査まで)	3	地域巡検 [誰かが自由に近づく物語を読み解く]	地域の歴史資料・地図・人物エピソード、 フィールドワーク記録、物語化ワークシート
	4	国際理解 I [寺子屋運動から考える「学ぶ自由」と世界の現実]	世界寺子屋運動の資料、識字率や教育データ、 JICA 資料、ポスター作成ワーク
10～12月 (後期中間 考査まで)	5	国際理解 II (模擬国連) [模擬国連を通じて考える「自由」と「平和」]	国別ポジションペーパー、国際課題資料、 決議案テンプレート、交渉記録シート
12～3月 (学年末考 査まで)	6	異文化理解と国際協力 [自由を「自分のもの」にせず、共につくる]	高校生地球市民ボランティアプログラム冊子、 ヒアリングシート、アクションプランシート